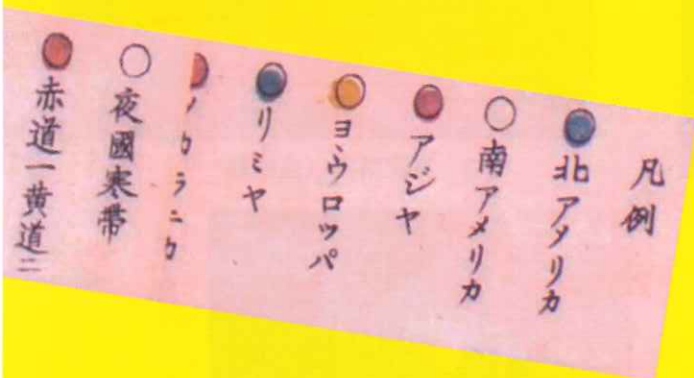
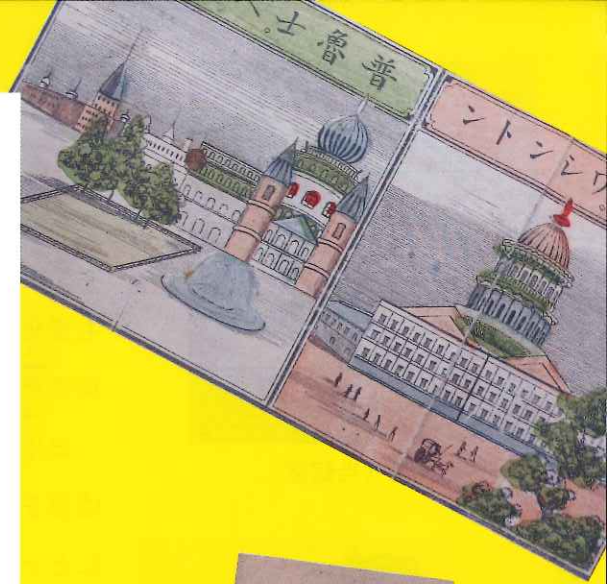
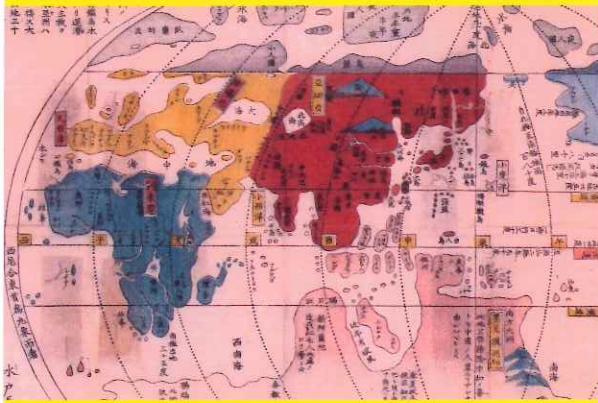
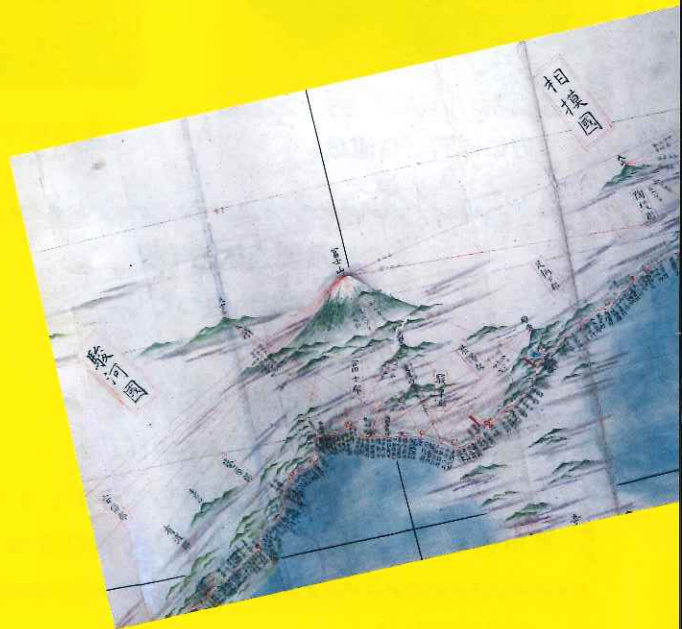


# 地図にまつわる エトセトラ



— 佐野常民と伊能図に目を向けて —



2019  
4/26 (金)  
↓  
6/14 (金)

会 場 佐賀市佐野常民記念館（佐賀市川副町大字早津江津 446-1）TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

開催時間 9:00～17:00 休 館 日 毎週月曜日（月曜が祝日の場合翌日）観 覧 料 大人 300 円 小・中・高校生 100 円

主 催 佐賀市佐野常民記念館 共 催 佐野常民顕彰会

後 援 日本赤十字社佐賀県支部、朝日新聞社、毎日新聞社、佐賀新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、サガテレビ、エフエム佐賀、NBC ラジオ佐賀、ぶんぶんテレビ（順不同）

右中資料 遠眼鏡をもつオランダ人（長崎歴史文化博物館収蔵） 右下資料 中図富士山付近（千葉県香取市伊能忠敬記念館所蔵） 他4点 佐野常民記念館所蔵



望遠鏡（当館蔵）

産業革命、明治維新と時代は流れ、技術の進歩は、より正確で広範囲な地図の作成を可能にしました。

地図は古代より世界各地に存在し、作成の始まりや目的は同じではなかったにしろ、その歴史は脈々と受け継がれてきました。人類が発展を遂げたように地図も進化を重ね、私たちの暮らしの身近な存在となっています。描き方も様々で芸術性を持った地図もあり、見る人の目を楽しませてくれます。

日本において地図といえば伊能忠敬の実測図（伊能図）が有名で、その正確さには目を見張るものがあります。没後から二百年が過ぎた今日でも、その名を世界にとどろかせています。日本赤十字社の初代社長である佐野常民も、伊能図の利用者であり、その地図の精巧さを賞賛しています。後に佐野は、東京地学協会の会合で伊能忠敬の業績についての講演を行いました。

企画展では、国や時代を超えて受け継がれてきた地図をいくつかの視点から見るとともに、その関係資料を紹介するのにあわせて、佐野常民と伊能図の関係にも目を向けます。



特別大図 八丈島

（千葉県香取市伊能忠敬記念館所蔵）



方位磁石（当館蔵）



東京地学協会記念メダル  
（当館蔵）



万国精圖（当館蔵）



故伊能先生事蹟（当館蔵）

企画展関連体験学習

—親子で学ぶ地図づくり—

日時：5月19日（日）13:30～

対象：小学生 定員：10組20名

内容：伊能忠敬の測量について学び、

実際に地図づくりに挑戦してみましょう

要申込 5月2日（木）午前9時より電話受付

—お問い合わせ—

佐野常民記念館

TSUNETAMI SANO Memorial Museum

〒840-2202

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津 446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

<http://www.saganet.ne.jp/tunetami/>

E-mail tunetami@star.saganet.ne.jp

